

ほっかいどう

北海道が わかる つながる かわる
— 年6回 奇数月にお届けします —



「穴をあけて保存できます」

特集 北海道が取り組む、東北との連携

北海道と東北を、もっと元気に。
互いの地域の発展を目指し、
豊かな未来づくりが始まっています。

北海道と東北がよりよく理解を深め、手を結ぶことにより、地域の魅力を高め合うチャンスが広がっています。東北との多様な連携を、北海道の活力にしていきたいと思います。



東北の皆様との交流・連携を一層深め、地域の活性化を進めていきたいと思います。

北海道知事 斎藤 洋子



※新幹線の車両はイメージです。



復興を願って、引き続き支援を進めます。

東日本大震災から3年が経とうとしています。北海道には、震災を機にふるさとを離れることになった大勢の方々が、今も避難生活を送っています。慣れない土地での生活には不安がつきもので、離れて暮らす家族や仲間、ふるさとの様子も気がかりなことでしょう。

北海道に住む私たちができることは、震災の記憶をしっかりと心に刻むとともに、そうした避難生活の現状を理解し、被災避難者の方々の心に寄り添っていくことではないでしょうか。

道は、被災地の自治体をはじめ、道内市町村、避難者支援団体などと連携を図りながら、復興に向けて引き続き支援を進めていきます。

北海道新幹線の開業に向け、交流・連携が活発に。

北海道新幹線は、平成27年度末(2016年3月)までの開業を目指して着々と建設工事が進められています。

これによって新函館(仮称)から仙台までは約2時間30分、新青森までは約1時間で移動できるようになります。新幹線で地域同士がつながることにより、ビジネスや観光、スポーツ、文化などさまざまな分野で交流が盛んになることが期待できます。

道では、特に道南地域と青森県との連携強化のため、青森県とともに「津軽海峡交流圏構想」を進めていますが、今後、こうした東北との交流・連携の気運の盛り上がりをさらに広げるため、北海道新幹線の開業効果を道内外に積極的にPRしていきます。

4道県で、北の縄文の世界遺産登録を目指します。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、道南と北東北が円筒土器を使う一つの文化圏だったことや、津軽海峡を「海の道」として人々が交流していたことを示す重要な文化遺産です。

その価値を広く発信するため、道は北東北3県と共同で、世界遺産登録を目指す取り組みを進めています。世界遺産登録の実現は私たちの大きな誇りとなり、北海道の魅力をさらに高めることにつながります。

東北と一体となった経済文化圏を。

東北とのこうした結びつきをもとに、ふたつの地域の魅力ある観光資源を生かした広域観光ルートづくりが進むなど、道は、東北と一体となった経済文化圏づくりを目指しています。

北海道と東北との連携によって新たな活気を生み出し、地域全体の魅力を国内外に向けてさらに発信していきたいと願っています。



特集 北海道を取り組み、東北との連携

ともに豊かな未来に向かって、東北との交流を深めていきます。

より広域での地域活性化を目指し、東北との連携が進んでいます。道内各地での取り組みをご紹介します。

人と心がつながる

道内で暮らす被災避難者を支援

東日本大震災を機に、東北や関東などから北海道に避難して暮らしている方は全道で2,719人(2月6日現在)にのぼり、道は被災避難者への支援を充実するために総合的な相談窓口を設置し、各種相談に対応しています。

また、避難された方に必要な情報提供や暮らしの支援を行うほか、避難者支援団体と連携して、道内各地の交流会の様子や被災地の復興状況等をまとめた広報紙「からから」を、全国避難者情報システム「ふるさとネット」に登録している方々にお届けしています。

▶道庁地域政策課 ☎(011)204-5800

ふれあいを心の支えに、被災避難者の自立を後押ししたい。

「みちの会」は、東日本大震災および福島第一原発事故によって北海道への避難を余儀なくされた被災避難者自身による、自立を目的とした自助団体です。

震災の約1カ月後に発足して以来、会員は増え続け、現在は札幌のほか道内5支部に約1,600人が登録しています。

活動は、会員同士の交流のほか、暮らしに関わる情報やサービスの案内など。慣れない土地で生活する中で、当事者だからこそ理解し合える場があることは心のケアになり、道民の皆さんとのふれあいからも生きる力をもらっています。

震災の影響は大きく、簡単に乗り越えられない問題もありますが、北海道で育まれたつながりを自立への力に変えられるよう、会員の心に寄り添って後押ししたいと思います。



みちの会 会長 本間 紀子さん

震災をみんなで考えよう

被災地や被災避難者への理解を深め、今後のことを一緒に考えてもらおうと、道は、震災のあった3月11日、「北海道広域避難これからフォーラム in 札幌」を開催します。

また、参加された方には、「応援プログラム」や東北の魅力を紹介する冊子「チビスロウ東北3県」を差し上げます。

北海道広域避難これからフォーラム in 札幌
◎日時/3月11日(火) [第1部]フォーラム 14:30~16:30 [事前申し込み] [第2部]映画上映 18:00~20:20 [先着順]

お申し込み・お問い合わせ
▶北海道広域避難アシスト協議会 ☎(011)826-4098



今こそ東北へ。「東北を心に刻む応援プログラム」

道は今年度、一人でも多くの道民の皆さんに被災地を訪れていただくため、「東北を心に刻む応援プログラム」と題した個人向けの体験型旅行商品の開発・販売に取り組みました。

これは、旅行や出張などで東北に行く人が、自分のスケジュールに合わせて自由に利用できる数時間単位のプログラム。これまで被災地を訪れる機会なかった人からも、参加しやすいと好評です。

道が取り組む事業期間は3月14日で終了しますが、春以降は、旅行会社が事業を引き継ぎますので、道民の皆さんには、これまで通り参加していただけます。

▶道庁地域政策課 ☎(011)204-5800
被災地ガイドツアー(岩手県陸前高田市)
▶道庁宝島旅行社 ☎(011)252-2115



被災地ガイドツアー(岩手県陸前高田市)

道の委託による「応援プログラム」では、岩手県、宮城県、福島県で体験できる10の旅行商品を開発しました。

被災地ガイドツアーや漁師さんの手伝い作業などを通して、復興に向かう被災地の姿を道民の皆さんに知っていただくことがねらいです。

現地ガイドの臨場感あふれる話に耳を傾け、おいしいものを食べ、お土産を買うことは何よりの復興支援。参加者からも「ようやく自分の目で被災地の様子を見ることができた。」などの声が寄せられています。

北海道にとって東北は、今ますます重要な存在になるでしょう。私たち道民が東北についてよりよく理解することが応援であり、絆を育む第一歩だと思います。

被災地の今を知り、東北への理解を深めよう。

北海道宝島旅行社 副社長 林直樹さん



宮城県から感謝のメッセージが届きました

北海道の皆さま、ご支援ありがとうございました

東日本大震災から3年。宮城県では、多くのご支援をいただきながら、県民一丸となって復興に取り組んでいます。

特に、北海道の皆さまには、ご寄付やボランティア活動、産業復旧、職員派遣、避難した方々へのきめ細やかなサポートなど、本当に多くのご支援をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

東日本大震災を機に一層強くなった北海道と宮城県の絆を今後とも大切に育んでまいります。引き続き、復興に取り組む宮城県へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

▶宮城県震災復興推進課 ☎(022)211-2408



昨年恵庭市で行われたフォーラムの様子

道がつながる

あと2年で、北海道に新幹線がやってくる！

平成27年度末(2016年3月)までに予定される木古内駅・新函館(仮称)駅の開業により、北海道と本州が新幹線でつながります。

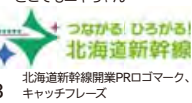
道は、開業2年前となった北海道新幹線を道内全体でさらに盛り上げていくため、北海道新幹線開業PRキャラクター「どこでもユキちゃん」を活用した広報活動を展開中。



北海道新幹線開業PRキャラクター どこでもユキちゃん

このほか、道南地域では北海道新幹線応援隊「道南ドリームチーム」が結成され、学校、企業、団体などによる応援活動が活発化しています。

▶道庁新幹線推進室 ☎(011)204-5333



北海道新幹線開業PRロゴマーク、キャッチフレーズ

北海道新幹線開業に向け、道南9町の魅力を発信！

木古内町 まちづくり新幹線新幹線振興室 浅見 尚資さん



平成24年夏、国の「地域おこし協力隊」制度を活用して千葉県から移住しました。

町の臨時職員として働く私たち地域おこし協力隊は通称「はやぶさ03」と呼ばれ、北海道新幹線開業に伴って、木古内駅を中心とした道南9町の観光を盛り上げる役割を担っています。

北海道新幹線開業に向け、歴史に磨かれたこの地域のすばらしさを多くの皆さんに知ってもらえるよう、力を尽くしていきます。



江差町の開業への研修風景

歴史がつながる

北の縄文を世界遺産に！

北海道、青森県、岩手県、秋田県にまたがる「北海道・北東北の縄文遺跡群」は18カ所の遺跡で構成され、うち6カ所が道内にあります。

道はこれら3県と共同で世界遺産登録を目指す取り組みを進めており、この縄文遺跡群は平成21年、ユネスコ世界遺産センターの暫定一覧表(候補リスト)に記載されました。

こうした気運をさらに盛り上げていこうと結成された「北の縄文道民会議」では、北の縄文文化の魅力を発信するイベントやシンポジウム、交流活動を行っています。

▶道庁縄文世界遺産推進室 ☎(011)204-5168

モダンな駅舎を中心に、新しい街並みができつつあります。

独立行政法人 鉄道・運輸機構 北斗鉄道建設所 所長 増田 康男さん



新函館(仮称)一青森駅の駅間は約148km。そのうち新函館(仮称)駅を含む北斗市域の建設工事を担当しています。

木古内駅とともに北海道新幹線の顔となる新函館(仮称)駅は、自然と調和するモダンで温かみのある駅舎デザインが特長。周辺には駅前広場や立体駐車場が作られ、メインストリートの両側に商業施設もできる予定です。

プラットホームなどが完成しつつある現在は、約200人の工事関係者がここで働いています。春以降に予定されるさまざまな検査に向けて関係者との連絡調整を密にし、しっかりと工程管理をしていくつもりです。



工事が進む新函館(仮称)駅(1月27日撮影)

お知らせ！ 赤れんが

消費税法改正等のお知らせ

消費税(地方消費税を含む)の税率が8%※になります。

総額表示義務の特例が設けられました。消費者向けの価格表示については、税込価格を表示(総額表示)することが義務付けられていますが、平成29年3月31日までは、「税込価格表示」を講じている場合に限り、税込価格を表示しなくてもよいとする特例が設けられました。

詳しくは、国税庁ホームページでご確認ください。

▶道庁事務課 ☎(011)204-5062

北海道警察官募集

お近くの警察署・または道警本部などで受験申込書を配布しています。

●平成26年度第1回採用試験日程

Table with columns: 受付期間, 第1次試験日, 採用, 試験区分 (A区分, B区分), 学歴, 採用予定人員, 受験資格

●受験申込書請求・各種問い合わせ
北海道警察本部採用センター
フリーダイヤル ☎0120-860-314
http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/

自動車税の住所変更

住所が変わった方は札幌道税事務所に住所変更の届出をお願いします。

●住所が変わったとき(変更登録)
●自動車を買ったとき(移転登録)
●自動車を使用しなくなったとき(抹消登録)

●住所変更の届出先
札幌道税事務所自動車課
☎(011)746-1190
【携帯版サイト】
▶道庁事務課 ☎(011)204-5062

どんどん食べよう道産DAY

道では、道内でとれた農畜産物や水産物を地元で消費する「地産地消」を進めており、特に毎月第3土曜日、

日曜日を「愛食の日 どんどん食べよう道産DAY」に設定し、道産食品の愛用を推進しています。

新鮮でおいしい道産食品を食べて、皆さん一緒に地産地消を進めましょう。

▶道庁食品政策課 ☎(011)204-5432

北海道青少年健全育成条例

道では、青少年を巡る新たな課題に対応するため、北海道青少年健全育成条例の一部を改正します。

●青少年の定義を18歳未満とすること
●携帯電話事業者は、使用者の年齢を確認の上、有害情報から青少年を守るためのフィルタリングサービス等の内容について説明し、書面を交付しなければならないこと
●保護者は、子どもが携帯電話のフィルタリングサービスを利用しない場合には、その理由を記載した書面を携帯電話事業者に提出しなければならないこと

女性の健康サポートセンター

妊娠、出産、子育ての不安や悩み、望まない妊娠、思春期や更年期の心やからだについてなど、女性のライフサイクルに応じて相談をお受けします。

▶不妊専門相談センター(旭川医科大学病院内)では、不妊症や不育症に関する専門的な相談に応じています。

●近代美術館 特別展 薬谷川健一展

北海道の魅力をアピールする観光プロモーションの多くを手がけたグラフィック・デザイナー、薬谷川健一の代表作や原画を紹介...
▶道立近代美術館 ☎(011)644-6882

耳より！ 総合振興局 & 振興局

道内各地の話題をお届けします。

胆振総合振興局 登ろういぶりの山～山登りまち巡りガイド～

根室振興局 根室でフットパス・ロングトレイルを楽しもう。

十勝総合振興局 十勝観光ARアプリ 「ぐるぐるとかち」配信。

胆振総合振興局 登ろういぶりの山

根室振興局 根室でフットパス・ロングトレイルを楽しもう。

木育活動の企画立案や
コーディネートができる
専門家を育てます。

北海道 つながる・ひろがる物語

達人編

料理、山菜採り、裁縫など、
特技を持った地域の高齢者が
商店街を通して活躍中。

札幌市 木育マスター育成研修
NPO法人ねおす【札幌市】

木育 × 達人

個々の得意分野を生かし、人や地域とつながることで、
新たな活動に広げている取り組みをご紹介します。

商店街 × 達人

釧路市 城山達人倶楽部/釧路城山
商店街振興組合【釧路市】

道では、子どものころから木とふれあうことで、人と木や森との関わりを考える心を育む「木育」の理念を理解し、木育活動の企画立案などを行う人材育成の研修を実施しています。



教材「木育の玉手箱」を使った体験

環境教育を行うNPO法人「ねおす」が研修を受託し、森林や木材の知識、プログラム作りの基礎などを4日間で学べるように企画・運営。年間20人、現在133人の木育マスターが認定されています。

木育の専門家が誕生したことで、道内各地で「木育フェスタ」をはじめ、充実した森林ウォークや木工体験、工場見学などが開催されるようになりました。

異分野がつながることで
木育の幅は広がります。

研修受講者は、自然ガイド、木材・建築関係者、デザイナー、教育者など業種はさまざま。毎年、募集人数の倍以上の応募があるほど人気です。



NPO法人ねおす
荒井 一洋さん

マスター育成で大切にしているのは、技術や知識を深めるだけでなく、異分野で活躍する人とつながることで木育の幅は広がると理解してもらうこと。企画のアイデアによってスポンサーがついたり、医療や交通機関とコラボレーションできたら、木育の可能性が多様化すると思います。

▶お問い合わせ NPO法人ねおす ☎(011)615-3923
道庁森林活用課木育推進グループ ☎(011)204-5515

子どもや若い世代とも
交流できて楽しい。

自宅は商店街から離れていますが、事務局長に勧められて6年前に登録しました。私に講師ができるか不安でしたが、母直伝の「飯寿司」や先輩に習った「鮭と大根のはさみ漬」を教えるうちに、いろいろな方と交流できるのが楽しくなって。子どもや若い世代に日本の伝統食を覚えてもらい、次の世代に伝えてほしいと思うようになりました。



城山達人倶楽部
濱物達人
坂井千恵子さん

達人倶楽部での出会いがきっかけで、健康のために社交ダンスも始めたんですよ。

▶お問い合わせ 城山達人倶楽部 ☎(0154)42-2655



濱物達人にコツを教わる子どもたち

※参考/道庁環境推進課「環境行動ハンドブック 環境忍者えこ之助」

すくすく北のキッズ

地域の子供がすくすくに育つよう、がんばっている活動を紹介します。

アイヌ民族のサケ漁を見てから、
残さず食べるようになったよ。



小学校で体験するアイヌ文化学習

千歳市立末広小学校では20年ほど前から、アイヌ民族の歌や踊り、サケ漁や料理、道具や楽器作りなど、地域の人々の指導を受け、全学年が段階的に体験する学習に取り組んでいます。



サケの皮はぎ体験をする
児童たち

児童たちは突き棒や打頭棒を使うサケ漁を間近に見て、最初はかわいそうに感じて、他の命のおかげで生きていることを学び、その後作った鮭料理は残さず食べるようになるといいます。この学習は、本物の伝統文化にふれることで自然や命の大切さ、多様な価値観を知り、共感する心を育てています。

▶お問い合わせ 千歳市立末広小学校 ☎(0123)23-4127

おいしい北海道 プレゼント!

㈱菊水の「エベチンら〜めん」(みそ、10食入)をプレゼント! 江別産小麦100%使用、江別市のご当地キャラ、エベチンをパッケージに使用しています。



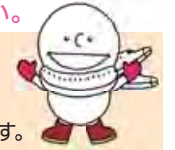
正解者の
中から抽選で
50名様

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

クイズに答えて道産品を当てよう!

【問題】このキャラクターの名前は何でしょうか。〇〇に入る文字をお答えください。

北海道新幹線開業PRキャラクター
「どこでも〇〇ちゃん」



【ヒント】中面右ページのどこかにいます。

●応募方法: クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先
ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課
「おいしい北海道プレゼント!」係

パソコン
広報紙「ほっかいどう」 検索

携帯サイト



●応募期限:3月20日(木)必着
応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

北海道の人口	総人口	男	女
平成25年12月末	5,441,621人	2,575,648人	2,865,973人
前年同月比	29,653減	15,427減	14,226減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

広報紙「ほっかいどう」 検索

次号のお知らせ
次号は5月に
配布予定です。



この印刷物は環境に優しい植物性インクと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お知らせ 地デジデータ放送で道政情報発信中! NHK総合・HTBを選局→dボタンを押す→北海道庁からのお知らせを選択→決定ボタンを押す

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。